

世代を超えてみなで唱歌童謡を歌おう！

【支援金確定額：200,000円 支援率：58.23%】

取材日：平成23年（2011年）12月11日

■どのような活動をされていますか？

同世代と一緒に歌える、心の中に思い出として残る歌は共有できます。しかし世代を超えて歌い継ぐ歌がありません。この問題意識に立ち、市内の公民館で月1回の「みんなで歌う唱歌・童謡講座」を開催しています。講座では、各地で活躍されている講師の方をお招きし、発声前の体操や呼吸方法、歌唱方法を最初に教えていただきます。プロの発声方法を学んだうえで声を出すと、いつもより美しく、気持ち良く発声することができます。参加者の方は開催場所ごとに異なりますが、以前参加した方からの紹介で新たに参加してくださる方もいます。



世代を超えて「歌う楽しさ」を共有

■支援金をどのように活用されますか？

講師の方への謝礼の補助、講座や会議の会場使用料、活動を知らせるチラシ作成等に活用しています。

支援金は活動の必要経費を賄うものであり、支援の対象となったことで、より広範囲の方に活動をPRすることができます。なるべくお金をかけず、誰でも手軽に活動に参加できるよう、努力を続けていきたいと考えています。

活動を開始してまだ1年未満で、いろいろ試みしていますが、課題としては、公民館音楽室などの会場の予約がなかなか取れないこと、多い女性高齢者の参加だけでなく、歌うことの好きな男性や子供たちにもっと来てもらうことです。



グループ毎に何の曲を歌うか相談します

■今後の活動の抱負を教えてください。

唱歌・童謡は伴奏がなくても、楽譜がなくても歌えるところに魅力があります。お腹から声を出し、明るい表情で歌うことを楽しむ。これが歌の美しさを生み出し、歌う方の元気を引き出します。「歌う楽しさ」を、世代を超えて共有するために、誰でも簡単に歌える唱歌・童謡は最適です。歌を通して、異世代の交流も芽生え、「人と人との繋がり」が地域に再構築されることを願っています。講座に幅広い年齢層の方が参加し、皆で楽しく歌えるよう、講師の方々とも工夫していきたいと考えています。東京や横浜の桃の会との連携やイベントも。その1つとして、来年12月9日に勤労市民センターでコンサートを開催する計画を進めています。

～取材を終えて～

講座で歌った唱歌・童謡は一度も聞いたことのない歌が多く、最初はついていけるか心配でした。しかし心をほぐす優しいメロディーや純粋な歌詞に癒され、講座終了時はもっと歌いたいという思いに駆られました。みんなで歌うから音を外さないように歌わなければと構えるのではなく、歌うことを楽しめば自然と声も出ました。歌うことで場に一体感が生まれ、仲間意識も共有されているように感じられました。

唱歌・童謡を歌い継ぐことで、歌の歴史を学ぶことになり、同時にその背景となっている日本の歴史を学ぶことにもなります。「歴史を受け継ぐ」活動を促進していかなければならないと思いました。

■関わり先（連絡担当者）：代表 小林 里美（こばやし さとみ）

TEL：047-449-5540 E-mail:chibamomonokai@gmail.com